NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：小田　一義

2023-No.7
2024年 3月21日

2024年総合労働条件改善闘争

速報⑤

CONTENTS

・No.5 縮小交渉

交渉最終盤 - ハドメ確保も積み上げに向け交渉を継続

1　NTJU － NTCJ　No.5 縮小交渉　3月21日(木) 10時～

３月２１日（木）Ｎｏ．５縮小交渉では、あらためて労使双方が主張を展開した。
ＮＴＪ労組の最終方針（ハドメ）には届くものの、更なる積み上げを目指して交渉を継続する。

＜賃金改定について＞

組合　前回のNo.4縮小交渉では、NTJ労組の最終方針（ハドメ）を提示した。交渉は大詰めを迎えている。あらためて会社としての回答意向を確認したい。

会社　賃金水準改善については、現下の当社経営状況、安心して働ける環境、企業が果たすべき社会的責任を十分考慮し慎重に判断したい。
組合からの最終方針（ハドメ）は重く受けてめており、ハドメ水準については確保する。その上で、経営影響の度合いなども踏まえ最終明日回答させていただく。

組合　組合としても、難しい経営状況の中で労使が今交渉に臨んでいることに理解が深まるよう、組合員に発信していく。

＜初任給・年齢別最低賃金について＞

組合　賃金改定についてはハドメ水準を確保とのことであるが、初任給および年齢別最低賃金についてはどうか。

会社　初任給、年齢別最低賃金ともにハドメ水準は確保する。競争優位性を保ち会社が持続的に発展していく必要性も踏まえ会社として判断し、最終明日回答させていただく。

＜一時金配分について＞

組合　経営状況の厳しさへの認識は今交渉を通じて共有できているが、一時金の業績反映部分である税引き前営業利益についての見通しはどうか。

会社　2023年度の当社営業利益は予断を許さない状況であり、現在黒字での着地に向け、全力で取り組んでいる状況である。

＜60歳以降の再雇用制度のあり方について＞

組合　60歳以降の再雇用制度のあり方について、確認したい。

会社　今闘争の後に、多様な人材が、年齢や性別・国籍に関係なく、活躍するための処遇制度の構築について、労使論議の場を設置したい。法改正の動向や職場の声も踏まえながら、課題を明確にしたうえで、丁寧に論議したい。

＜回答指定日に向けて＞

組合　ハドメ水準の確保は確認できたものの、満額への組合員の期待は大きい。明日の回答指定日まで残された時間はわずかだが、会社の英断を求めたい。

明日の回答指定日に向け、更に積み上げを目指します
組合員は、最後までご注目ください！